

Save Your Future.

安全と環境の取組で
あなたのこれからを守ります。

HATSUTA

株式会社 初田製作所

環境報告書 2011



Ecology

Universal Design

Quality

CONTENTS

■ハツタについて

- ・ ごあいさつ…………… 2
- ・ 事業概要…………… 3
- ・ ハツタの歩み…………… 4
- ・ 製品案内…………… 5
- ・ 経営理念・経営方針…………… 6

■環境マネジメント

- ・ 環境理念・環境方針…………… 7
 - 環境・品質理念、環境方針、品質方針…………… 7
 - 環境・品質基本方針…………… 7
- ・ 環境マネジメント体制…………… 8
 - 環境マネジメント組織体制…………… 8
 - ISO14001 認証状況…………… 9
- ・ 環境目標・計画・実績…………… 10

■特集

- ・ カーボンフットプリントとCO₂削減の取組み…………… 11
 - カーボンフットプリント制度とは…………… 11
 - カーボンフットプリント制度への取組み…………… 11
 - CO₂削減の取組み…………… 12

■環境活動報告

- ・ 環境パフォーマンス…………… 13
 - エネルギー使用量・排出量…………… 13
 - 本社工場での電気・ガス・水道 投入量…………… 13
 - 本社工場のGHG排出量…………… 13
 - 廃消火器のリサイクル量…………… 13
 - 廃棄物排出量…………… 13
- ・ 環境に優しい商品・サービスの紹介…………… 14

■社会性報告

- ・ 環境法規制遵守状況…………… 15
- ・ 教育・訓練…………… 15
- ・ 社会環境コミュニケーション…………… 16
- ・ 環境・社会活動のあゆみ…………… 17

・ 編集方針

株式会社初田製作所は、2003 年度に環境報告者を一度発行いたしました。昨年、7年ぶりに「環境報告書 2010」を発行いたしました。昨年に引き続き「環境報告書 2011」として発行いたします。

報告対象期間は2010 年度（2009 年 12 月 1 日～2010 年 11 月 30 日）としていますが、一部 2011 年度以降の内容も含んでおります。尚、製品型式名は、2011 年新型式名としております。

本報告書は、株式会社初田製作所の事業活動による環境負荷の状況と環境負荷低減に対する取組、お客様や社会とのかかわりについて報告しています。

・ 対象期間：2010 年度（2009 年 12 月 1 日～2010 年 11 月 30 日）

・ 対象範囲：国内を対象としています。

・ 対象組織：本社・本社工場及び国内支社支店

・ 発行年月：2011 年 5 月

・ 発行部署：株式会社初田製作所
品質保証・環境管理部

・ お問合せ先：TEL (072) 856-1285

FAX (072) 850-9710

・ ホームページ： <http://www.hatsuta.co.jp>

・ 参考資料：環境省 環境報告ガイドライン（2007 年版）

■ハツタについて

ごあいさつ

当社は、明治 35 年に 二重瓶消火器株式会社を創設し、昭和 22 年に株式会社 初田製作所を設立致しました。一世紀を超えて操業することが出来たのも、消火・防火という業界の中であって、時代とともに変化する社会環境に対する対応や、お客様のニーズに対する対応を社会やお客様が認めて頂けたものと考えております。

今後も我々の企業活動について、社会やお客様にさらに理解を頂き、認めて頂くには、我々の企業活動において持続可能な社会の実現に向けて我々ができることを推し進め、環境保全・環境負荷低減への取組みを継続的に推進していくことが求められています。

当社の環境への取組は、2001 年環境マネジメントシステム（EMS）の導入宣言を経て、翌年の 2002 年に本社及び本社工場で EMS 導入、2007 年までに国内 2 支社 4 支店に拡大いたしました。2010 年度は組織上新たに 5 支店が加わりましたが、これら 5 支店については 2011 年度 EMS 認証に向け拡大準備を行なってまいりました。環境配慮のための企業活動を商品の開発から生産、販売サービスに至るまで企業活動全体を通して EMS のシステムを活用しながら推進しております。

2006 年には廃消火器のリサイクルを推進するため、環境大臣より「広域認定」を取得し、さらに廃消火器の回収から再利用に関する「ハツタ・エコサイクルシステム」を構築、消火器などの製品をお客様から回収、リサイクルしてまいりました。2009 年 12 月 28 日に社団法人日本消火器工業会としての認定に切り替わり、さらに利便性考慮したシステムとして運用を開始しています。

2007 年には消火器のリース事業を推進して、消火器の期限切れ放置や不法投棄を防止し、確実にメーカーで回収・リサイクルを行う「NEW ECOSS・ゼロエミサービス」を構築いたしました。2009 年度には、これらの環境への取組みが評価され平成 21 年度「おおさか環境賞」を受賞いたしました。

2008 年には「実消館」というトレーニングセンターを建設し、全ての消防用設備の操作から放射、点検や組立作業まで体験できる体験型研修センターとして、全国販売店様はもとより、末端のお客様、地域のお客様において頂き体験して頂いております。こうした体験学習により、出来るだけ幅広い層の方々に、実際の火災時における対応面でのスキルアップが図られ少しでも被害が少なくなることを願っております。



株式会社 初田製作所
代表取締役社長
初田 和弘

2009 年度から、地球温暖化対策として温室効果ガス排出量を算定して表示する制度（カーボンフットプリント（CFP）制度）への取組みを開始しました。2010 年 3 月には消火器の商品種別算定基準（PCR）の認定を受け、2010 年 11 月には蓄圧式粉末消火器の CFP 算定申請を行いました。2010 年 12 月に行われました「エコプロダクツ 2010」に、CFP 申請中ではありましたが、CO₂ 排出量を表示した蓄圧式粉末消火器を出展させていただきました。

この度、「環境報告書 2011」を発行する運びとなりましたが、本書ではこういった環境に関する取組みを報告するとともに、社会貢献活動に関する取組についてもご報告申し上げます。今後とも環境保全活動と社会貢献活動を推進するに当たり一層の改善を図りながら取組んで参りたいと考えておりますので、皆様からの更なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

■ハツタについて

事業概要

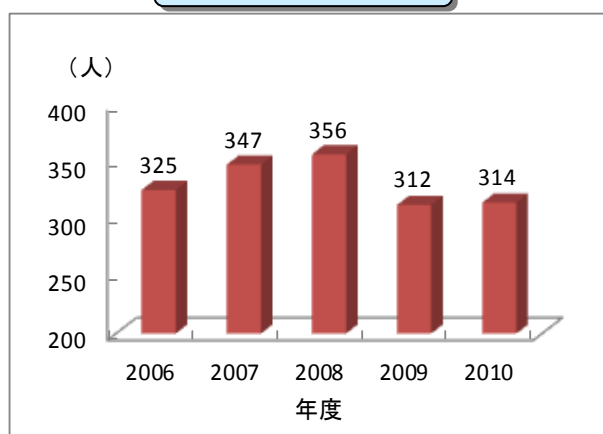
会社概要

社名 株式会社 初田製作所
創立 1902(明治35)年12月1日
会社設立 1947(昭和22)年8月19日
本社・工場 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
支社・支店 北海道支店 東北支店 北関東支店 東京支社 南関東支店 北越支店
中部支店 関西支社 中国支店 四国支店 九州支店
(2010年11月30日現在)
資本金 8千万円
売上高 122億円(2010年11月30日現在)
従業員数 314人(2010年11月30日現在)
営業品目 各種消火システム・特機システム・警報システム
各種消火器・防災関連機器
関連会社 初田(上海)国際貿易有限公司
初田(寧波)消防機材有限公司
(株)ハツタテクノ
(株)ハツタスリーエステクノ
新沖防災工業(株)
(株)ジャパメックス
(有)ハツタコーポレーション

売上高の推移



従業員数の推移



本社・実消館



初田(寧波)消防器材



■ハツタについて

ハツタの歩み

会社沿革

明治35年12月	高木文平氏により発明された二重瓶消火器の専売特許権を譲り受け、京都市で二重瓶消火器株式会社創設、二重瓶消火器の製造販売を開始。
昭和13年2月	大阪市西淀川区大和田町に新本社工場を建設。本社・工場を移転。
昭和19年7月	初田工業株式会社に社名変更。
昭和22年8月	初田工業株式会社より事業を分離独立し、株式会社初田製作所を設立。資本金195,000円。本社を大阪市北区神明町、工場を大阪市西淀川区御幣島町に移転。
昭和26年7月	資本金を1,500,000円に増資。
昭和26年11月	新工場を大阪市西淀川区野里町に建設。
昭和28年4月	資本金を5,000,000円に増資。
昭和30年8月	資本金を10,000,000円に増資。
昭和31年5月	著しい企業の合理化、技術向上の努力が認められ、大阪府知事から中小企業優良工場表彰を受ける。
昭和36年8月	資本金を20,000,000円に増資。
昭和36年12月	消火装置の製造販売を開始。総合防災メーカーとしてのスタートをきる。
昭和38年6月	本体容器に継ぎ目のないシームレックス消火器を開発・販売。
昭和39年1月	資本金を50,000,000円に増資。
昭和40年8月	シームレックス消火器の製品・製造国内特許を取得。
昭和40年12月	大阪府枚方市の大阪府中小企業団地にたん白泡消火薬剤製造工場完成、操業を開始。
昭和41年6月	同消火器薬剤工場完成、操業を開始。
昭和41年12月	同技術研究所完成。
昭和42年6月	シームレックス消火器の製品、製造米国特許取得。
昭和42年9月	大阪府枚方市に本社社屋完成、本社移転。
昭和43年4月	同消火器製造工場完成、操業を開始。創立65周年、設立20周年記念式典を開催。
昭和45年4月	販売代理店の全国組織として全国ハツタ会が発足。
昭和47年4月	カセット式消火器を開発・発売。
昭和57年8月	小型消火システム・キャビネックスを開発・発売。
昭和62年7月	パッケージ型自動消火システム・アミュレイを開発・発売。
平成元年1月	ステンレス製消火器を開発・販売。
平成元年1月	日本フェンオール株式会社と開発・販売に関する業務提携を締結。
平成4年5月	製造工場に新消火器生産ライン完成。会社創立90周年、設立45周年記念式典を開催。
平成6年3月	同団地に消火装置枚方倉庫（機器センター）完成、操業を開始する。
平成11年8月	消火器業界で初めて品質保証の国際規格ISO9001認証取得。
平成11年11月	FM型式取得。
平成14年12月	ISO14001環境マネジメントシステム認証取得。
平成15年10月	中国上海に、初田（上海）国際貿易有限公司を設立。
平成15年12月	業界初のエコマーク消火器発売。
平成17年2月	中国寧波市に初田（寧波）消火器材有限公司を設立。
平成17年10月	IG55消火設備が中国消防局の認定取得。
平成18年9月	環境大臣より廃消火器の「広域認定」取得。
平成19年3月	消火器リース「NEW ECROSS・ゼロエミサービス」開始。
平成19年3月	「CASSO」が世界的に最も権威のあるデザイン賞の一つ「iF賞」を受賞。
平成20年1月	HATSUTA消火設備トレーニングセンターとして「実消館」を設立。
平成21年6月	平成21年度「おおさか環境賞」の奨励賞（事業活動部門）を受賞。

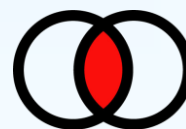
二重瓶消火器

明治35年、高木文平氏により発明された二重瓶消火器、初田の歴史はここから始まりました。



登録商標の由来

創立当時から使用されたダブルリング（双輪）の商標は明治40年商標登録されました。当時製作していた消火器が二重瓶式であったことから、それを図案化して輪を二重にしたものです。輪は円満を意味し、それを二つ合わせることで和を表しています。創立以来社会に奉仕する弊社のシンボルマークとなっております。



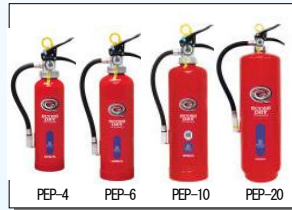
■ハツタについて

製品案内

消火器



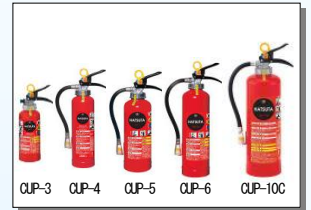
PEP-100S PEP-20S
ハ-ストリTM(蓄圧式)
粉末(ABC)消火器(テレス製)



PEP-4 PEP-6 PEP-10 PEP-20
ハ-ストリTM(蓄圧式)
粉末(ABC)消火器(テール製)



ALSE-3S ALSE-6S
ハ-ストリTM(蓄圧式)
強化液消火器



CUP-3 CUP-4 CUP-5 CUP-6 CUP-10C
加圧式粉末(ABC)消火器



PEP-50S CSP-100 CF-100
大型消火器(車載式)



PEP-4V PEP-10V PEP-20V
自動車用粉末(ABC)消火器



ALS-4T
鉄道車両専用強化液消火器



CSP-3X DD-30 DD-80 DD-150
船舶用消火器

消火設備



屋内消火栓
水消火設備



スーパーアウルNS
パッケージ型消火設備



泡消火設備



コンパクトフォーム3S
泡消火設備



ガス系消火設備



アルゴナイト・アミュレイ30
パッケージ型不活性ガス消火設備



粉末消火設備



HDA-75RD HDA-75EC HDA-100A
移動式粉末消火設備

家庭用機器



AKS-1R ALS-1RH PEP-5R
一般住宅用消火器



CASSO
ユニバーサルデザイン消火具



HOME ACE
エアノール式簡易消火具



キッチンエース
簡易自動消火装置

製造装置・実験装置用システム



COX-7E2
半導体・工作機械向け自動消火装置



COX-7K2
小型NC旋盤向け自動消火装置



AGX-4
アルゴナイト自動消火装置



RE-35Z
機械泡自動消火装置

Save a Life. Save the Earth.

ハツタは絶えずお客様本位で活動いたします。

ECOとUDとQUALITYを柱に、お客様のかげがいのない生命と財産を守り、美しい地球環境保全のため自然との調和を心がけながら、安心と品質の創造を目指します。

HATSUTA's Policy

- | | |
|-----------|------------|
| ① ECO | 地球環境への思いやり |
| ② UD | 使う人への思いやり |
| ③ QUALITY | 人命を護る |



Ecology
Universal Design
Quality

ハツタは「思いやり」がキーワード。

“私たちの思いやりの心を、商品やサービスと共にお客様にお伝えする”これが目標です。

「思いやり」をキーワードに、「ECO」「UD（ユニバーサルデザイン）」「QUALITY」

を企業ブランド価値創造の核とし、ユーザーから選ばれるブランド価値の確立を

目指してまいります。

■環境マネジメント

環境理念・環境方針

株式会社 初田製作所は、消火器及び消火システムの製造・販売を行う企業であることを踏まえ、安全と品質・環境の取組の中で以下の理念・方針に基づき活動いたします。

環境・品質理念

私たちハツタは、絶えずお客様の立場で考え活動します。
かけがえのない生命と大切な財産を守り、青い地球の環境
保全のため、安心と品質の創出と自然との調和を目指します。

環境方針

製品のライフサイクルを通して環境負荷を考え、
より良い社会に貢献します。

品質方針

顧客にとって優秀にして価値ある製品を創造し提供します。

環境・品質基本方針

- ① 製品の設計、製造、使用、廃棄に至るまでの全てのライフサイクルにおいて、顧客・環境に配慮し、効率の良い製品造りを目指します。
- ② 環境汚染の予防を推進するとともに企業活動全般の変化を評価し、関係部署で環境目標目的・品質目標目的を定め、実行し、定期的に見直しを実施します。
- ③ 環境及び品質マネジメントシステムに対する定期的な監査を行い、より良い成果が得られるように継続的な改善活動を展開します。
- ④ 全ての活動に適用される法規制と周辺地域と環境保全に関する協定、その他の要求事項を遵守します。
- ⑤ 当環境・品質方針を従業員等に周知すると共に一般に公開し、又周辺地域との調和を図ります。

■環境マネジメント

環境マネジメント体制

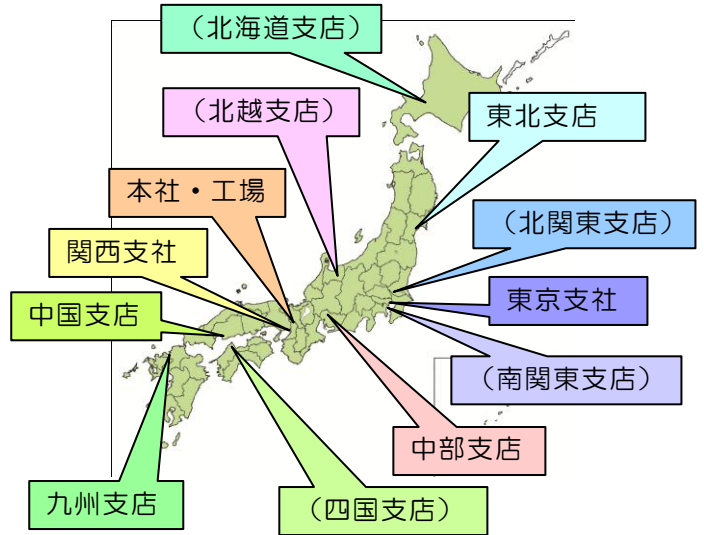
環境マネジメント組織体制

推進体制

株式会社 初田製作所は、環境負荷低減に対する取り組みを、2010年度は本社・工場及び全国2支社・4支店で推進、2010年度発足の新5支店については2011年度拡大適用に向けての準備を実施してまいりました。

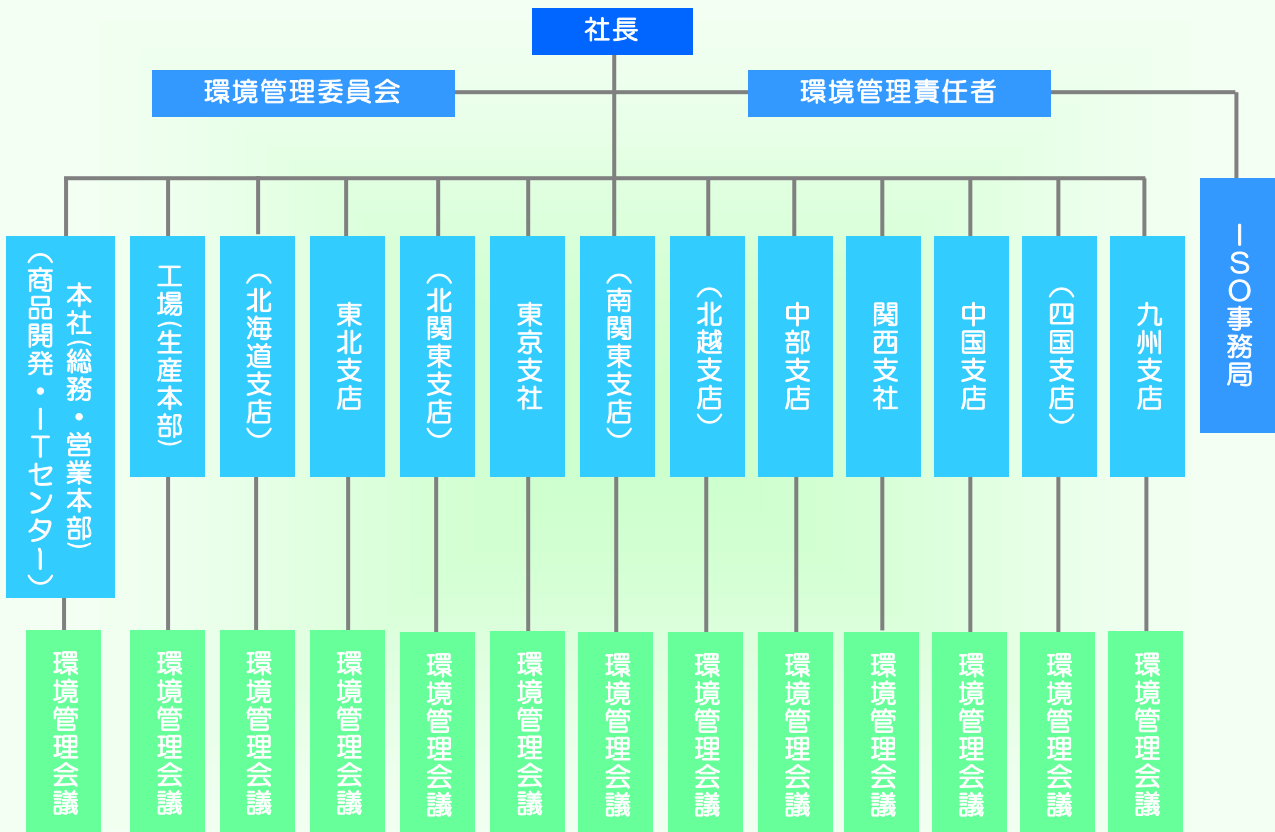
- ・本社・工場：(大阪府枚方市)
 - ・東京支社：(東京都品川区)
 - ・関西支社：(大阪府大阪市西淀川区)
 - ・東北支店：(宮城県仙台市宮城野区)
 - ・中部支店：(愛知県名古屋市中区)
 - ・中四国支店：(広島県広島市西区)
 - ・九州支店：(福岡県福岡市博多区)
 - ・(北海道支店)：(北海道札幌市豊平区)
 - ・(北関東支店)：(埼玉県さいたま市浦和区)
 - ・(南関東支店)：(神奈川県横浜市都筑区)
 - ・(北越支店)：(富山県富山市)
 - ・(四国支店)：(愛媛県松山市)
- ()内支店：拡大準備実施(2011年度拡大予定)

環境マネジメント体制全国事業所



(2010年度 環境マネジメント体制全国事業所)
()内支店：拡大準備実施(2011年度拡大予定)

【環境マネジメント組織体制図】



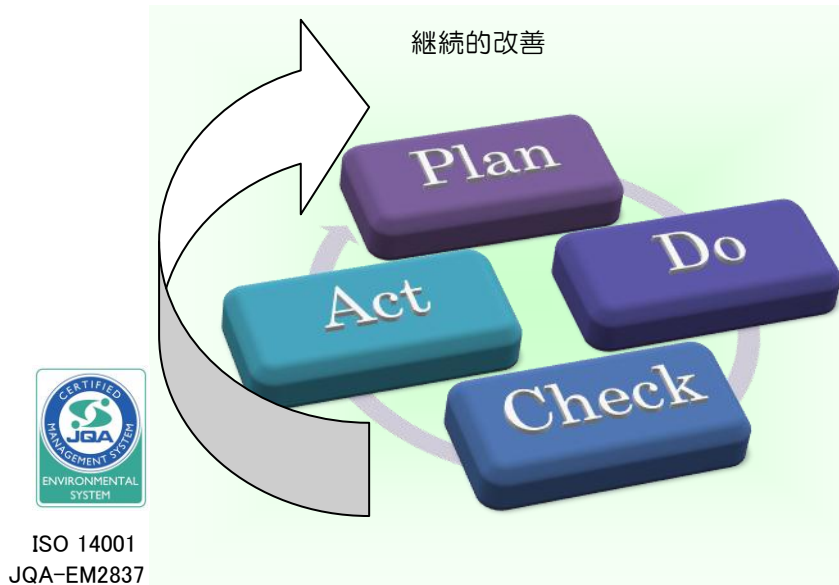
2010年度 環境マネジメント組織体制図

()内支店：拡大準備実施(2011年度拡大審査予定)

■環境マネジメント

環境マネジメント体制

ISO14001 認証状況



株式会社 初田製作所は、国際環境規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを導入し、環境保全活動を行っています。

ISO14001に基づく【Plan→Do→Check→Act】を効果的に活用し、継続的改善を図り環境保全活動の推進を行っています。

2002年本社・工場の導入から始まり、2004年には2支社に拡大、2007年に4支店まで拡大、2010年度発足新5支店は、2011年拡大を予定し、国内全事業所で環境活動を推進する体制を構築しております。

環境マネジメントシステム認証取得状況

取得	事業所	対象製品	対象業務	認証番号	認証取得年月日
ISO 14001	本社・工場	消火器・消火薬剤・消火設備等	設計・開発、製造等	JQA-EM2837	2002年12月13日
	東京支社	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約、施工等		2004年 8月 6日
	関西支社	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約、施工等		2004年 8月 6日
	東北支店	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約等		2007年 9月21日
	中部支店	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約等		2007年 9月21日
	中国支店	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約等		2007年 9月21日
	九州支店	消火器・消火薬剤・消火設備等	販売、契約等		2007年 9月21日

環境監査の状況

2010年度	本社		工場		東北支店		東京支社	
	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会
内部環境監査	1	0	0	1	0	0	0	0
外部定期審査	0	7	0	0	0	0	0	0

2010年度	中部支店		関西支社		中国支店		九州支店	
	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会	不適合件数	改善の機会
内部環境監査	0	1	0	0	4	0	0	2
外部定期審査	1	0	0	3	0	0	0	0

(外部定期審査:2010年8月3日~6日実施)2010年度は外部審査において不適合が1件ありましたが、「是正処置計画・報告書」にて再発防止対応がなされております。

■環境マネジメント

環境目標・計画・実績

全社・各部門・環境目標と成果

<全社・環境目標と成果>

環境目標		計画・実績			成果
全社中期目標	本年度実施項目	2009年度 実績	2010年度 計画	2010年度 実績	
環境負荷低減	グリーン調達推進	79%	80%	79%	未達
	PFOS未使用消火薬剤の開発	—	100%	100%	達成
循環型社会に適応した ビジネスを推進	消火器リサイクル本数拡大(全社)	45.9万台	50万台	63.9万台	達成
	エコス消火器の拡販	50,925本	72,549本	113,748本	達成
法令遵守	広域認定制度に基づく廃消火器の回収	違反0件	違反0件	違反0件	達成
新5S活動の推進	新5S活動による品質と環境の向上	—	提案50件	提案102件	達成
蓄圧式消火器の啓蒙教育	環境・安全に配慮した蓄圧式消火器の啓蒙教育	—	100%実施	108%実施	達成

<各部門別・環境目標と成果(抜粋)>

環境目標			計画・実績			成果
ブロック No.	部門	本年度実施項目	2009年度 実績	2010年度 計画	2010年度 実績	
1	生産本部	グリーン調達率	75%	80%	66%	未達
	生産本部	廃棄不良胴体の削減	3,958本	4,050本	3,243本	達成
	生産本部	消火器解体の効率化	121.4本/h	125本/h	105本/h	未達
2	商品開発	設備用タンクの軽量化	—	100%達成	100%	達成
	3	本社	蓄圧式消火器の啓蒙教育(実消館入場者)	—	1,000人	1,076人
本社		グリーン調達率	83.7%	85%以上	92.4%	達成
4	東北支店	法令遵守による廃消火器の回収	違反0件	違反0件	違反0件	達成
5	東京支社	蓄圧式消火器の拡販	13,006本	前年比135%	13,576本	未達
	東京支社	新5S活動の推進	—	提案50件	102件	達成
6	中部支店	廃消火器の回収促進	46,468本	48,792本	69,264本	達成
	中部支店	エコス消火器の拡販	12,800本	13,440本	23,242本	達成
7	関西支社	廃消火器の回収促進	129,983本	110,000本	150,039本	達成
	関西支社	エコス消火器の拡販	20,742本	27,000本	41,246本	達成
8	中国支店	蓄圧式消火器の拡販	7,625本	前年比120%	14,034本	達成
9	九州支店	廃消火器の回収促進	23,000本	25,000本	16,112本	未達
	九州支店	エコス消火器の拡販	5,300本	5,600本	15,360本	達成

カーボンフットプリントとCO₂削減の取組み

カーボンフットプリントとは？

カーボンフットプリント制度とは？

○商品のライフサイクル全般（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出された温室効果ガスをCO₂量に換算し商品・サービス等の単位で表示する制度。

事業者にとっての意義

- サプライチェーン全体の排出量を「見える化」することで、削減効率の高いポイントを把握。
- 事業者単位を超えた一体的な削減対策により、全体最適化を実現。
- 自らの環境負荷低減に対する取組みの消費者へのアピール。

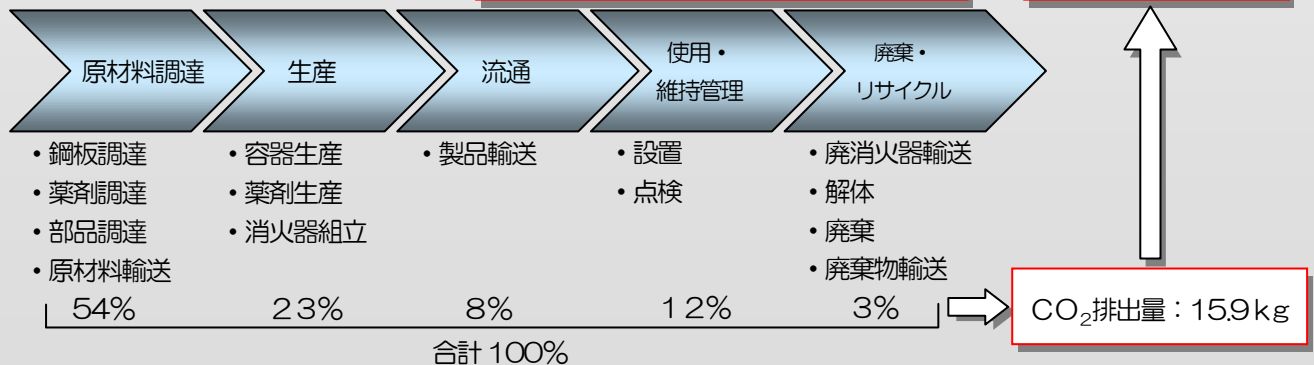
消費者にとっての意義

- 消費者によるCO₂排出量の自覚促進
- 環境負荷低減に向けた適切な情報の提供

消火器のライフサイクル各段階

CO₂排出量を「見える化」することで削減効率の高いポイントを把握

消費者へのCO₂排出量情報開示

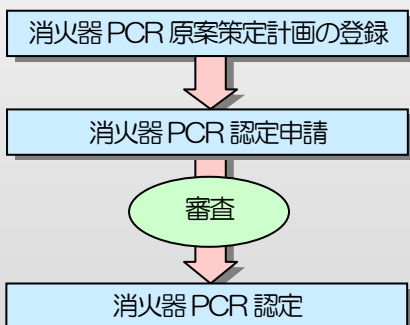


カーボンフットプリント試行制度への取組み

カーボンフットプリント試行事業への取組み

ハツタは「低炭素社会づくり行動計画」において「見える化」のひとつとして実施される「カーボンフットプリント制度試行事業」に2009年から積極的に参画し、CO₂削減に向け新たな取組みを開始しました。

消火器の商品種別算定基準（PCR）認定



CO₂排出量の算定に当っては、その商品別の算定基準が必要になります。その基準を商品種別算定基準（PCR：Product Category Rule）といいます。ハツタは「消火器 PCR 原案策定計画」を経済産業省委託事務局へ提出、2009年10月30日に登録されました。（登録番号：PPR-054）

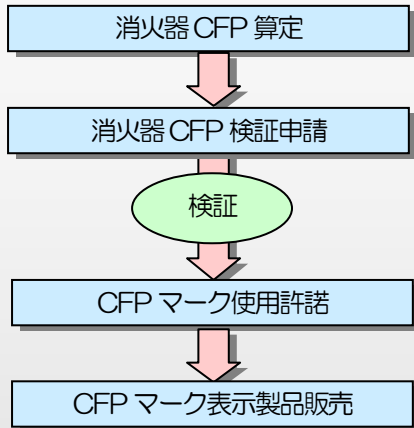
ハツタはワーキンググループ活動を通じて「消火器 PCR 原案」を策定し、申請代表・実施事業者として単独で PCR 認定申請を行ないました。「PCR委員会」の審査の結果2010年3月12日に「消火器 PCR」として認定されました。（認定番号：PA-BA-01）

カーボンフットプリントとCO₂削減の取組み

カーボンフットプリント試行制度への取組み

消火器のカーボンフットプリント (CFP) 算定

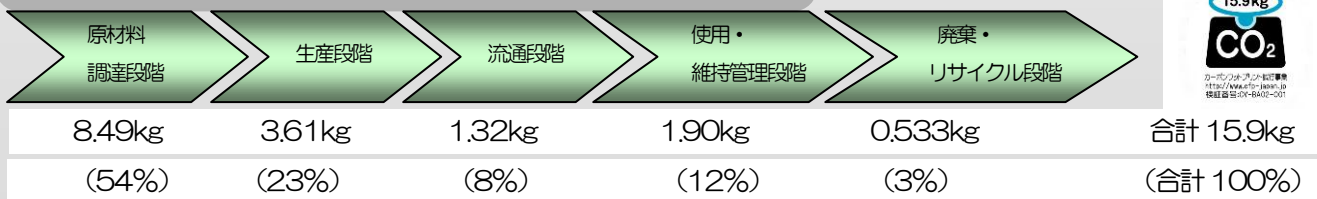
(CFP : Carbon Footprint of Products)



2010年9月8日に改訂された「消火器PCR」(PA-BA-02)に基づき、蓄圧式粉末消火器のCFPについて算定を行い、2010年11月27日付で検証申請を行いました。2011年2月7日開催 CFP 検証パネルでの検証審議の結果、その内容について適当と認められ、2011年2月24日業界第1号で CFP マークの使用が許諾されました。(検証番号: CV-BA02-001)



蓄圧式粉末消火器のCO₂排出量算定結果 (CV-BA02-001)



CO₂排出量削減の取組み

カーボンフットプリント試行制度においてCO₂排出量を「見える化」することで、CO₂削減効率の高いポイントを把握することができます。今後、この制度を活用してCO₂排出量の削減に向け進めてまいります。一方、これまでもCO₂削減に向け取組みを行ってまいりました。ここではその一部をご紹介します。

太陽光発電設備



消火器リサイクル工場屋上には、太陽光発電設備を設置しております。この太陽光発電設備により発電された電力は、消火器リサイクル工場用照明の一部に使用されています。

工場敷地内緑化



2010年6月に枚方工場敷地境界に植樹を行いました。工場敷地内を緑化することにより少しでもCO₂削減に貢献できるよう今後も取組みを進めてまいります。

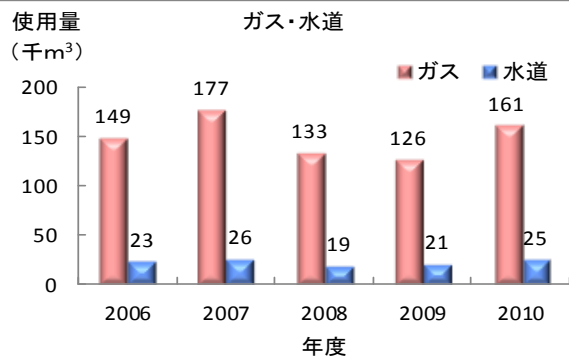
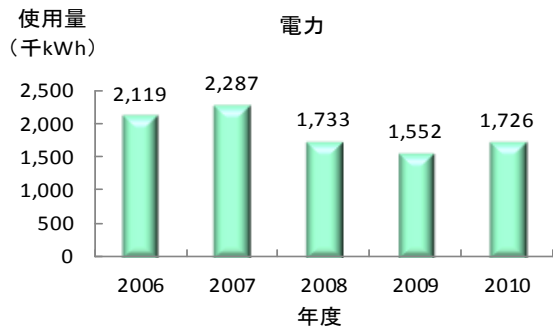
■環境活動報告

環境パフォーマンス

エネルギー使用量・排出量

INPUT

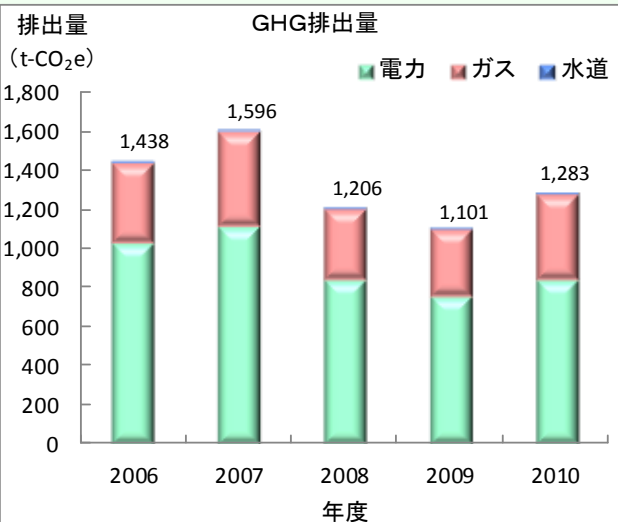
本社工場での電気・ガス・水道 投入量



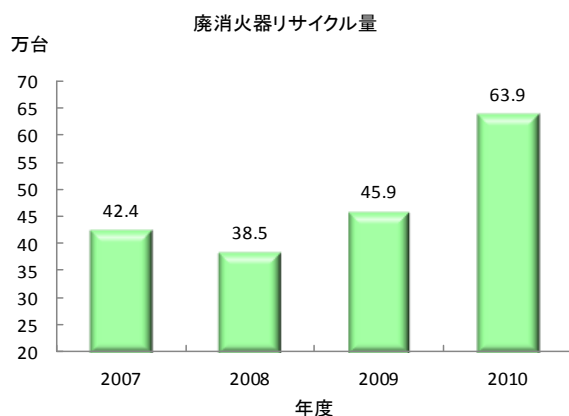
OUTPUT

本社工場のGHG 排出量 (CO₂換算)

本社工場の電気・ガス・水道の使用に伴って発生する温室効果ガス (GHG: Green house Gas) をCO₂に換算して表示します。(過去5年間)

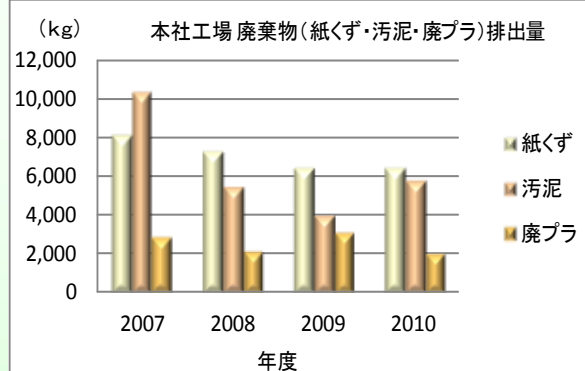


廃消火器のリサイクル量

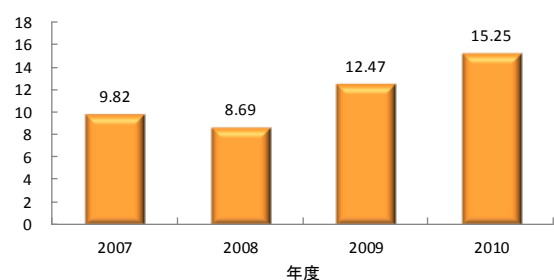


2006年から「広域認定」を取得し、廃消火器の回収から再利用に関する「ハツタ・エコサイクルシステム」を構築、消火器のリサイクルを進めております。廃消火器爆発事故のあった2009年9月以降、消火器の回収量が増加、2010年度もリサイクル量が増加しております。

廃棄物排出量



再生量 (t) 本社工場 ダンボール排出量 (再生量)



環境に優しい商品・サービスの紹介

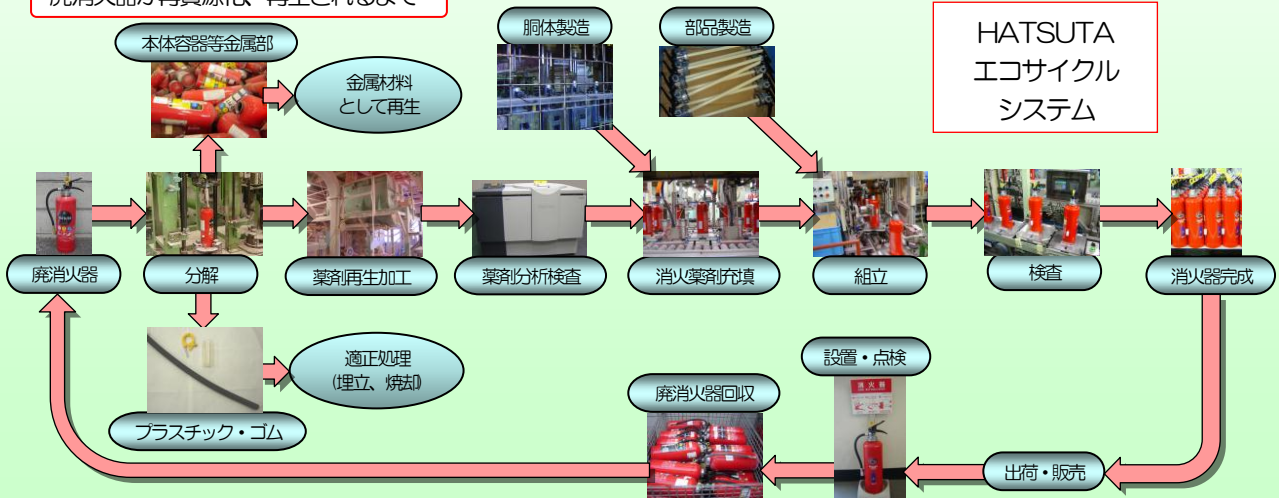
ハツタ・エコサイクルシステム

エコサイクルシステムとは？

ハツタ「エコサイクルシステム」は、回収した消火器を分解し、部品・本体容器は再資源として活用、粉末消火薬剤は本社工場で再利用消火薬剤としてリサイクルを行います。

ハツタは、廃消火器のリサイクルを推進するため、環境大臣より「広域認定制度」の認定を2006年9月1日に受け、消火器などの製品をお客様から回収リサイクルしてまいりました。2009年12月28日に社団法人日本消火器工業会としての認定に切り替わり、さらに利便性を考慮したシステムとして運用を開始しています。

廃消火器が再資源化、再生されるまで



環境にやさしい消火器 ECOSS シリーズ

ECOSS【エコス】とは？

- ECOlogy …エコロジー
- Stored pressure …蓄圧
- Stainless or Steel …ステンレス又は鉄製

人間も生態系の一員であるとの視点から、人間生活と自然との調和・共存を目指す考え方に基いて開発された蓄圧式消火器の愛称

環境に配慮した消火器 ECOSS シリーズ

ハツタでは、環境に配慮した商品開発を進めております。消火器だけではなく消火器設置台についてもエコマーク認定商品を用意いたしました。

ECOSS-DRY	ECOSS-WET	設置台
RoHS 指令対応	RoHS 指令対応	グリーン購入法適用
グリーン購入法適用		

NEW ECOSS・ゼロエミサービス

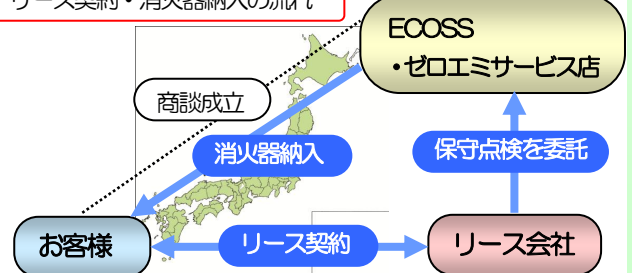
ゼロエミとは？

ゼロ・エミッション (Zero emission) の略
異なった業種間共同で、地球の限られた資源の使用効率を高め、廃棄物 (エミッション) がゼロになることを目指すという考え方。95年国連大学が提唱。

これからの消火器リースプラン NEW ECOSS・ゼロエミサービス

「NEW ECOSS・ゼロエミサービス」とは、消火器のゼロ・エミッション (廃棄物ゼロ) を目指す、業界初の新しいサービススタイルです。ご利用いただきました消火器、設置台、表示板はすべてハツタ独自の「エコサイクルシステム」を活用し、リサイクル・リユース・最終適正処分を実現。クリーンな地球環境を維持・保全するために、循環型社会の実現に消火器で貢献いたします。

リース契約・消火器納入の流れ



環境法規制遵守状況

環境関連法規制一覧

環境関連法規制の法令名（抜粋）と適用部署の一覧は以下の表の通りです。（◎：具体的遵守事項記載の法令 ○：関連法令）

分類	法令名	適用部署												
		本社	工場	東京	関西	東北	中部	中国	九州	北海道	北関東	南関東	北越	四国
基本法	環境基本法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	環境影響評価法	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	地球温暖化対策推進法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公害防止組織法		◎											
	環境教育促進法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大気関係	環境配慮促進法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	大気汚染防止法		◎											
	自動車Nox・PM法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水質汚濁	オゾン層保護法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	フロン回収破壊法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
廃棄物	水質汚濁防止法		◎											
	下水道法		◎											
リサイクル	廃棄物処理法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	広域認定制度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	PCB処理特別措置法		◎											
	循環型社会形成推進基本法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
化学物質安全衛生	資源有効利用促進法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	容器包装リサイクル法		○											
	家電リサイクル法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	グリーン購入法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	化学物質審査法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
土地利用	労働安全衛生法	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高圧ガス保安法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	消防法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	建築基準法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
省エネルギー	省エネ法	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	健康増進法	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

環境法令等遵守確認方法と結果

環境法令等が遵守されているかどうかについて、ハツタでは環境管理ブロック毎に「環境法令等遵守チェックリスト」を作成し、それに基づき法令遵守状況の確認を行っております。各ブロック別の2010年度法令遵守確認結果は以下の表の通りです。

ブロックNo.	部門	2010年度法令遵守確認結果	
		確認結果	確認日付
1	生産本部	適法	2010年11月30日
2	商品開発	適法	2010年11月30日
3	本社	適法	2010年11月30日
4	東北支店	適法	2010年11月30日
5	東京支社	適法	2010年11月30日
6	中部支店	適法	2010年11月30日
7	関西支社	適法	2010年11月30日
8	中部支店	適法	2010年11月30日
9	九州支店	適法	2010年11月30日
	北海道支店	適法	2010年11月30日
	北関東支店	適法	2010年11月30日
	南関東支店	適法	2010年11月30日
	北越支店	適法	2010年11月30日
	四国支店	適法	2010年11月30日

教育・訓練

法定有資格者

公的資格者確保として必要な資格取得のため外部講習会などを活用し取得推進に努めています。2010年11月末時点の公的有資格者の人数は下表の通りです。

法定有資格名	人数	備考
公害防止管理者	1	
危険物取扱者	甲類	3
	乙類(3~5類)	21
電気主任技術者	4	電気事業法届出
ボイラ取扱技能講習受講者	6	
有機溶剤作業主任者	1	
特定化学物質等作業主任者	1	
特管産業廃棄物管理責任者	3	危険物倉庫管理者
特化・四アルキル鉛等作業主任者	1	
除害施設管理責任者	3	排水処理施設管理者
乾燥設備作業主任者	7	塗装乾燥炉作業主任者
プレス機械作業主任者	3	プレス作業主任者
クレーン(5t未満)取扱業務者	2	
アーク溶接特別講習受講者	1	
職長等安全教育受講者	2	

資格認定者

ISOの教育・訓練規定に基づいた社内教育、技能教育を実施、内部監査員、設計開発員、測定校正員、検査試験員、特殊工程員、などの資格認定取得に積極的に取り組んでいます。毎年、教育訓練計画をたて、教育訓練を実施しています。2010年11月末時点の資格認定者の人数は下表の通りです。

資格認定種類	人数
内部環境監査員	EMS 61
内部品質監査員	QMS2008年版 58
設計開発員	31
測定校正員	41
検査試験員	受入・工程内・製品検査 31
特殊工程員	半田付け工程 12
特殊工程員	パーカー工程 7

■社会性報告

社会環境コミュニケーション

体験型研修 実消館

100年を超える経験とノウハウを活かし、2008年「実消館」をオープンいたしました。実消館では、お客様に実際の消火設備をご覧いただいたり、操作していただくことができます。

更にお客様にサービスを提供するディーラーのプロショップ化を目指した研修を行います。

また、お客様に、設置された消火設備の作動体験の場としてもご利用いただけます。

- 実 … 実際体験を柱とした研修を行うことを目的として設立
- 消 … 消防防災業界の成長と発展を目指し、引いては国家と国民の安全向上に寄与することを目的として設立
- 館 … 建物の意



社会貢献活動・新5S活動・安全衛生推進活動

本社枚方工場敷地内及び工場周辺エリアでは、定期的に一斉清掃の時間を設け環境美化に取り組んでおります。工場周辺の環境美化活動を通じ、周辺環境美化に貢献しております。

また、新5S活動を通じ、整理、整頓、清掃、清潔、躰の実践を行なうとともに、安全衛生委員会を通じ、安全衛生活動を推進しております。



本社工場周辺清掃活動



2010年7月 安全大会

体験型 展示室 ビックスギャラリー

●ビックスギャラリーとは？

ビックスギャラリーは箱 (BOX) をモチーフにした、「子供から大人まで、目と体験で楽しめるテーマパーク。イザというときに活かされるB i x体験」をテーマにつくられた見学施設です。

●ビックスギャラリーのコンセプト

お子様から大人の方まで、みんなで楽しめて、イザというときに役立つ体験ができる展示室を目指しています。

訪れた皆様にビックリするようなたくさんの発見をしていただきたいという思いが込められています。

ビックス
B i x = ビックリ + BOX
B i x 内には発見 (ビックリ) がいっぱい!



ユニバーサルデザイン

年齢、性別、体格などに限らず「より多くの方が使いやすい」をテーマに、何度もモニターによるフィールドテストを繰り返したこだわりの一品です。

使いやすいさへのこだわり

- ① 滑りにくく握りやすい大きなレバー
- ② 片手で安心らくらく操作
- ③ 暗闇でもわかる蓄光グリップ
- ④ 人に優しく火に強いニュータイプ消火薬剤
- ⑤ 倒れにくく放射時の手がかりにもなる台座

国際的に評価の高いデザイン

今までの消火具にはみられなかった斬新で優れたデザインは世界的に認められ、2007年にはドイツのiF賞を受賞しました。

●iF賞(iF design award)とは

1953年に設立された世界的に最も権威のあるデザイン賞の一つ。ドイツ・ハノーバーを拠点に活動する、デザイン進行のための国際的な組織「インター・フォーラム・デザイン・ハノーバー (iF)」が主催。毎年、全世界の工業製品を対象に、トップクラスのデザイナーや企業のデザイン責任者などが審査を行ない、優れた工業デザインを選定する。

CASSO(キャッソ)



■社会性報告

展示

エコプロダクツ2010

「エコプロダクツ2010」にカーボンフットプリントマーク付蓄圧式粉末消火器出展。

平成22年12月9日から11日までの3日間、日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2010」が東京ビッグサイトにて開催されました。今回12回目を迎えた「エコプロダクツ2010」では「2020年までに温暖化ガスを25%削減する」ことを前提として、持続可能な社会を実現するために今何ができるのか、次の10年で何をしなければならぬのかを考え、実践する場として構成されました。

経済産業省の「カーボンフットプリント制度試行事務局」の展示会場では「カーボンフットプリント理解促進のための取組みの紹介と製品の展示」が行われ、その中でハツタは、カーボンフットプリントマーク付蓄圧式粉末消火器（算定申請中）を出展いたしました。




環境・社会活動のあゆみ

- | | |
|-----------------|---|
| 1970年（昭和45年 8月） | 「日本万国博覧会」に施設参加 |
| 1985年（昭和60年 2月） | 「科学万博—つくば'85」に施設参加 |
| 2002年（平成14年11月） | 本社・工場ISO14001 環境マネジメントシステム認証取得 |
| 2004年（平成16年 1月） | エコマーク認定商品 ECOSS シリーズを発売 |
| （平成16年 8月） | 2支社ISO14001 環境マネジメントシステム認証取得拡大 |
| 2005年（平成17年 3月） | 愛・地球博に ECOSS 消火器採用
消火器レンタル「ECOSS・ゼロエミサービス」開始 |
| 2006年（平成18年 9月） | 環境大臣より廃消火器の「広域認定」取得 |
| 2007年（平成19年 3月） | 消火器リース「NEW ECOSS・ゼロエミサービス」開始
「CASSO」が世界的に最も権威のあるデザイン賞の一つ「iF賞」を受賞 |
| （平成19年 9月） | 全社ISO14001 環境マネジメントシステム認証取得4支店拡大 |
| 2008年（平成20年 1月） | HATSUTA 消火設備トレーニングセンターとして「実消館」を設立 |
| 2009年（平成21年 6月） | 平成21年度「おおさか環境賞」の奨励賞（事業活動部門）を受賞 |
| 2010年（平成22年12月） | 「エコプロダクツ2010」にCFPマーク付蓄圧式粉末消火器出展 |

株式会社 初田製作所

<http://www.hatsuta.co.jp>

お客様相談窓口  0120-82-2041
電話受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝を除く)

回収・リサイクル
相談窓口  0120-82-2306
電話受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00 (土・日・祝を除く)
<http://fecycle.jp>

この環境報告書に関する問い合わせ先

株式会社 初田製作所 品質保証・環境管理部
TEL (072) 856-1285 FAX (072) 850-9710



HATSUTAは地球温暖化防止国民運動、
チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

環 100 1105-WEB



ISO 9001
JQA-QM3671



ISO 14001
JQA-EM2837

(本社・支社・支店)